	事務事業名	青年活動パワーアップ事業	担业	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	青年活動パワーアップ事業	当部	係 名	生涯学習係
1	事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本項	事 業 期 間	開始年度 平成23年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平頂	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
自	台 以	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目	目	社会教育総務費
	画 基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり	市月	民協働の状況	協働している

新川学びの森天神山交流館で青年向けに3つの教室(抹茶・料理・着物着付け)と1つのサークル(ストリートダ 事業概要 ンス)を実施している。 また、市内若者による魚津市の活性化を目的とした事業を団体(うおづ屋・実行委員会魚津音組)へ委託している。 事 対 象 市内在住または市内へ通勤している青年(主に18歳~35歳) 手 段 青年教室の実施。青年団体によるイベントの実施・参加を通して交流する。 (活動指標) 青年教室に参加することにより、余暇を有効に活用することができる。また、イベントを企画・運営することにより、青年同士の交流が深まり、若者が元気になり、魚津市が活性化する。 (成果指標)

	指標名	単位	24年			25年度		26年度
	14 保 石	中世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 ① 青年教室・サークル数	箇所	6	5	5	4	80.0%	4
3	期 ② パワーアップ塾(うおづ屋)事業数	口	2	2	2	1	50.0%	2
指	標 ③							
倧	成 ① 学びの森青年会登録者数	人	50	99	110	69	62. 7%	100
	果 ② うおづ屋の交流団体数	口	1	1	3	5	166. 7%	5
	標 ③							

	E /\	光什	24年	三度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	130, 000	19, 000	90, 000	61, 907	225. 8%	90, 000
艺	②委託料	円	500, 000	500, 000	500, 000	500, 000	0.0%	500, 000
出	③工事請負費	円						
ď	④負担金補助及び交付金	円						
』 訂	⑤その他	円	894, 000	495, 000	894, 000	447, 190	-9.7%	721, 000
3	支出合計(A)	円	1, 524, 000	1, 014, 000	1, 484, 000	1, 009, 097	-0.5%	1, 311, 000
ス	①国庫支出金	円						
ト月	2県支出金	円						
唐池	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
訓	⑤一般財源	円	1, 524, 000	1, 014, 000	1, 484, 000	1, 009, 097	-0.5%	1, 311, 000
	収入合計	円	1, 524, 000	1, 014, 000	1, 484, 000	1, 009, 097	-0.5%	1, 311, 000
)	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
华	0	時間	400	400	400	400	0.0%	400
事	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
糸	費 用 (A+B)	円	3, 204, 000	2, 694, 000	3, 164, 000	2, 689, 097	-0. 2%	2, 991, 000

- 平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容 〇青年教室での練習の成果を披露するため、生涯学習フェスティバルに参加した。【開催日】3月2日【場所】学びの森交流館 ○ 同年教至での練音の成果を披露するため、生涯学省フェスティハルに参加した。【開催日】3月2日【場所】学びの森交流館 ○ うおづ屋のメンバー募集チラシを作成し、メンバーの増員に努めた。また、各団体主催事業には、協力しイベントを盛り上げた。 取 ・ 魚津祭組主催の「よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり」では魚津音組がイベントの一部としてまちなか映画祭を開催し、うおづ屋は当日スッタッフとして協力した。【開催日】5月18日【場所】魚津商工会議所前通り ・ 魚津音組主催の「USIC FES!!2013」ではうおづ屋のメンバーがスタッフとして協力した。【開催日】9月16日(月)9:00~17: 200【場所】新川文化ホール【参加者数】2,060人 ・ うおづ屋主催の「ミラたんモザイクアートプロジェクト」の写真応募では魚津音組、魚津高校写真部、新川高校報道記録部が写真 提供に協力した。【写真募集期間】9月31日~10月31日【参加者数】個人127名・5団体【応募枚数】2001枚

	JAL 17(1-1		0 / 2 0	21 21 21 21 2	710. [19/15 02	~ 1 1 1 7 7 1 - 2		111 110 21 122				
	評価の	視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容			
					自治体関与の妥当性	 	妥当であ	る 🗆 :	2 検討の余地	也あり	□ 3	妥当でな	(1
	妥 当	性		В	目的の妥当性	□ 1	妥当であ		2 検討の余均		□ 3	妥当でな	
					対象の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🔲 :	2 検討の余均		□ 3	妥当でな	
					目標達成度	□ 1	高い	✓	2 目標どおり		□ 3	低い・未	実施
	有 効	性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余均	也あり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	<u> </u>	高い	▽ :	2 普通		□ 3	低い	•
6					コスト効率	□ 1	高い		2 普通		□ 3	低い	
評	効 率	性		С	実施主体の適正化		適正であ		2 改善の余均		□ 3	適正でな	
価					負担割合の適正化		適正であ	る 🖸 :	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でな	い
	1 次評	平価		В	事業の進め方・内	容につい	て改善の	2次評価	不要				
	(課長総	(括)		ם	余地あり			2 1/10	17安				
	後二証		•		<u>=</u>			評					
	の頭価	全	国的に青年活	動の活性化か	「求められている中	で、新た	な青年活	価					
	方 及 公	動	が始まったこ	とは評価され	ιることであり、さ	らに幅広	い団体等	結					
	針び用	اع	の連携により	、活動の活性	E化を図る必要があ	る。		果					
	後の方針) (課題及び今評価結果							未					

	事務事業名	生涯学習振興事業	担业	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	生涯学習振興事業	当部	係 名	生涯学習係
1基本項目	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 昭和45年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平頂	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
目	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
•	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目		社会教育総務費
	画 基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり	市国	民協働の状況	協働になじまない

事業概要 市の社会教育全般について助言や意見を受けるため、社会教育委員を設置する。社会教育委員は、東海北陸社会教育研究大会などへの参加を通じて社会教育の現状や動向について研修し、時代にあった社会教育事業の実施につなげていく。

対象 社会教育委員

(活動指標) 社会教育委員会議の開催及び社会教育研究大会(東海北陸ブロック)への参加

意図 (成果指標) 社会教育委員からの事業への意見や提言を受け、事業に反映させていく

		指標名	単位	24年	F度		25年度		26年度
		****	半世	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 社会教育委員研修回数	口	3	2	3	2	66. 7%	3
3	期 指	2							
指揮	標	3							
憬	成田	① 社会教育委員からの提言数 (会議開催数)	件	2	1	2	1	50.0%	2
	果指	2							
	標	3							

	区 分	単位	24年	F度		25年度		26年度
		毕业	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	403, 000	257, 210	413, 000	252, 031	-2.0%	428, 000
	支 ②委託料	円						
	出③工事請負費	円						
	内 ④負担金補助及び交付金	円	33, 000	33, 000	10, 000	10, 000	-69. 7%	30, 000
4	訳 ⑤その他	円	152, 000	38, 220	253, 000	161, 000	321. 2%	180, 000
ے	支出合計(A)	円	588, 000	328, 430	676, 000	423, 031	28. 8%	638, 000
7	①国庫支出金	円						
	財 ②県支出金	円						
棲	源③地方債	円						
3440 II	内 ④その他(使用料、雑入等)	円						
TIX	訳 ⑤一般財源	円	588, 000	328, 430	676, 000	423, 031	28.8%	638, 000
	収入合計	円	588, 000	328, 430	676, 000	423, 031	28. 8%	638, 000
	人 ①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	件②年間所要時間	時間	400	400	400	400	0.0%	400
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
3	総 費 用 (A+B)	円	2, 268, 000	2, 008, 430	2, 356, 000	2, 103, 031	4. 7%	2, 318, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取 〇平成25年6月4日に社会教育委員会議を開催し、平成25年度の重点事業について事務局より説明の後、委員から事業への意見や提 組 言を受けた。

			-								
	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であっ	る 🗆	2 検討の余均	也あり	□ 3	妥当でない
	妥 当 性		Α	目的の妥当性	1	妥当であっ		2 検討の余均		□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	7	妥当であっ	る 🗆	2 検討の余均		□ 3	妥当でない
				目標達成度	1	高い		2 目標どおり		√ 3	低い・未実施
	有 効 性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余均	也あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	1 □	高い	>			□ 3	低い
6				コスト効率	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
評	効 率 性		Α	実施主体の適正化	√ 1	適正であん	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	√ 1	適正であん	る 🗆	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でない
	1 次評価		Λ	計画どおり事業を男	€施する	ことが適	2 次評化	不要			
	(課長総括)		Α	当			乙伙計	川			
	後○証			_			評				
				から幅広い助言や意			価				
	// T7 /. 1. /V L	快していくこ	とは重要であ	り、市民ニーズにも	あった社:	会教育事	11111				
	カス 結 大 サバス	の推進を図っ					結				
	針び果		0				果				

	事務事業名	生涯学習教室等事業	担火	課 名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	生涯学習教室等事業	当部	係 名	生涯学習係
1	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 昭和50年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総 目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
目	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	皿	I	社会教育総務費
	画 基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり	市	民協働の状況	協働している

2 東	事業概要	学び続けるきっかけづくりとして、初心者を対象とした生涯学習教室を開催する。また、成果を発表する生涯学習 フェスティバルを開催する。 市民の教養を高めることを目的に、市民教養講座ハートフルセミナーを開催する。
学	対 象	市民
概要	手 段 (活動指標)	習い事などの生涯学習活動を始めたい人のニーズに沿った講座を設ける。
	意 図 (成果指標)	講座受講をきっかけに、生涯学習に取り組む人が増える。

	指 標 名	単位	24年	F. 度		25年度		26年度
		中亚	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
Ť	① 開催教室数	教室	10	18	14	18	128.6%	12
3	② ハートフルセミナー	□	3	3	2	2	100.0%	2
指 [③ 生涯学習フェスティバル		1	1	1	1	100.0%	1
保	① 受講者数	人	210	196	220	157	71. 4%	200
		人	90	66	30	19	63.3%	50
札								

	E /\	光件	24年	三度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	185, 000	147, 887	157, 000	143, 752	-2.8%	187, 000
支	②委託料	円						
H 出		円						
内	④負担金補助及び交付金	円						
4 部		円	845, 000	394, 595	790, 000	498, 165	26. 2%	750, 000
=	支出合計 (A)	円	1, 030, 000	542, 482	947, 000	641, 917	18.3%	937, 000
スニ	①国庫支出金	円						
人具	②県支出金	円						
唐 沥	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
部	⑤一般財源	円	1, 030, 000	542, 482	947, 000	641, 917	18. 3%	937, 000
	収入合計	円	1, 030, 000	542, 482	947, 000	641, 917	18.3%	937, 000
人	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
件	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	時間	400	400	400	400	0.0%	400
費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	1, 680, 000	0.0%	1, 680, 000
総	· 費 用 (A+B)	円	2, 710, 000	2, 222, 482	2, 627, 000	2, 321, 917	4. 5%	2, 617, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5 ○初心者を対象とした生涯学習教室を18教室開催し、167名が受講した。 取 ○生涯学習教室や地区公民館で開催する講座受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。【開催日】平成 26年3月2日【場所】新川学びの森天神山交流館 内 ○郷土料理の伝承を目的に市民教養講座のハートフルセミナーを2回開催した。 ・郷土のお正月料理【開催日】12月25日【場所】学びの森交流館【参加者数】11名 ・冬の郷土料理【開催日】1月25日【場所】学びの森交流館【参加者数】8名

	評価の	視点	H24評価	H25評価	評価項目				内:	容			
					自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であ	る 🔲 :	2 検討の余地	1あり	□ 3	妥当でない	
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であ		2 検討の余地		□ 3	妥当でない	
					対象の妥当性	1	妥当であ	る 🔲	2 検討の余地		□ 3	妥当でない	
					目標達成度	1	高い		2 目標どおり		 3	低い・未実施	
	有 効	性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	1あり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	1	高い	>	2 普通		□ 3	低い	
6					コスト効率	1	高い		2 普通		□ 3	低い	
評価	効 率	性		В	実施主体の適正化	∨ 1	適正であ		2 改善の余地		□ 3	適正でない	
価					負担割合の適正化	1	適正であ	る 🔲	2 改善の余地	はあり	□ 3	適正でない	
	1 次評 (課長総			В	事業の進め方・内容 余地あり	引につい	て改善の	2次評価	不要				
	後の方針) (課題及び今	市方	が主催する生とから、さら	涯学習教室は に、新規受請	た、生涯学習のきった 生が入りやすい環境	いけづく 竟整備を:	りである 進める。	評価結果					

	<u> </u>				
	事務事業名	視聴覚ライブラリー事業	担火	課 名	生涯学習・スポーツ課
_	予算事業名	視聴覚ライブラリー事業	当部	係 名	生涯学習係
1基本項目	事 業 区 分	自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
基本	事業期間	開始年度 昭和43年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平頂	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
Ê	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目	目	社会教育総務費
	基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり	市月	民協働の状況	協働になじまない

事業概要 | |学校教育、社会教育における視聴覚教材の活用を促すとともに視聴覚教材の研究を行う 2事業概 対 象 小学校、中学校、幼稚園、保育所、社会教育団体(公民館など) 段 より効果的な学習活動のために、保有する視聴覚教材を貸し出す。また、要望の多い作品を購入する。 (活動指標) 視聴覚教材や機材を活用して学習効果を高める学校や園などが増える (成果指標)

	指標名		24年	F. 度		25年度		26年度
	***	単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	① 教材・機材ののべ貸出し数	数	100	83	100	44	44.0%	100
3	<u>期</u> ②							
指	標③							
磦	成 ① 教材・機材を活用した学校等の数	校・園	25	14	25	11	44. 0%	25
	果 指							
	標 ③							

	区分		24年	F度		25年度		26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	田						
支	② 委託料	円						
H 出		円						
卢	④負担金補助及び交付金	円						
4 部		円	230, 000	205, 128	200, 000	192, 906	-6.0%	200, 000
<u> </u>	支出合計 (A)	円	230, 000	205, 128	200, 000	192, 906	-6.0%	200, 000
7	①国庫支出金	円						
人	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
部	⑤一般財源	円	230, 000	205, 128	200, 000	192, 906	-6.0%	200, 000
	収入合計	円	230, 000	205, 128	200, 000	192, 906	-6.0%	200, 000
人	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
件	C 1 1 4 7 1 2 4 1 1 4	時間	100	100	100	100	0.0%	100
費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	420, 000	420, 000	420, 000	420, 000	0.0%	420, 000
総	· 費 用 (A+B)	円	650, 000	625, 128	620, 000	612, 906	-2.0%	620, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

取 〇視聴覚資材・機材の貸し出しを行った。 組 〇視聴覚教材選対委員会を開催し、新たに購入する3作品を選定した。(平成25年12月3日) 内 〇魚津市視聴覚ライブラリー運営委員会を開催し、25年度の事業成果と今後の課題また26年度事業計画案について協議した。(平成 容 26年2月25日)

	(I												
	評価のも	見点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容			
					自治体関与の妥当性	√ 1	妥当である	る 🔲 :	2 検討の余均	也あり	□ 3	妥当でな	こしい
	妥 当	性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当である		2 検討の余均		□ 3	妥当でな	
					対象の妥当性	1	妥当である	る 🔲	2 検討の余均		□ 3	妥当でな	
					目標達成度	1	高い		2 目標どおり		√ 3	低い・未	実施
	有 効	性		В	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余均	也あり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	1	高い	V	2 普通		□ 3	低い	
6					コスト効率	1	高い		2 普通		□ 3	低い	
評	効 率	性		В	実施主体の適正化	√ 1	適正である		2 改善の余均		□ 3	適正でな	
価					負担割合の適正化	1	適正である	გ 🔲 :	2 改善の余均	也あり	□ 3	適正でな	こし
	1 次評	価		В	事業の進め方・内容	引につい.	て改善の	2 次評価	五 不要				
	(課長総	括)		b	余地あり			乙狄計业	小女				
	後 一 証							評					
	(課題及び今評価結果	4B E	は学がせるよ	ローかんフリ		1 A > 40	m + 40 7	価					
	方型加				:ともに、幅広い市目	にから利	用される						
	針及結	t	うPRする必	安がある。				結					
	- 0 4 果							果					
	今												

古 75 古 W	+0	⊐ □ <i>h</i>	***************************************
事務事業名 新川学びの森天神山交流館運営事業	担业	課名	教育委員会生涯学習・スポーツ課
予 算 事 業 名 1. 交流館運営費	部	係 名	文化係
事業区分自治事務	署	電話番号	0765-23-1045
事業期間開始年度平成14年終了年度当面継続	予	会 計	一般会計
道 総 目 標 名 基本目標 4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
合 政 策 名 10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
計 施 策 名 31 生涯学習の推進	Ш	I	学びの森天神山交流館費
画 基本事業名 31-1 学び続ける環境づくり	卡	民協働の状況	協働可能だが予定なし

(一財) 魚津市施設管理公社をを指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。ま た、学びの森音楽祭の開催や自主事業を行うことにより、魚津市が掲げる音楽のまちづくりの推進と生涯学習の場を 広く市民に提供する。 事業概要 事 対 象 施設、施設利用者、市民、各種団体等 段 (一財) 魚津市施設管理公社を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設の維持管理、施設利用料 (活動指標) の徴収、施設の利用促進のための企画の実施を行う。さらに学びの森青年会も運営する。 施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。生涯学習の場を提供 することで、市民の学ぶことへの意欲や教養を高める。 (成果指標)

			単位	24年			26年度		
			丰江	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	评	① 施設経費	円	53, 067, 000	52, 868, 320	52, 469, 000	51, 361, 380	97. 9%	61, 241, 000
3	動指標	② 自主事業実施回数	口	187	187	155	146	94. 2%	160
指		3							
磦	成品	① 利用件数	件	7, 200	7, 379	7, 400	7, 450	100. 7%	7, 500
	果指	② 利用者数	人	57, 000	55, 937	57, 000	51, 974	91. 2%	58, 000
	標	③ 施設利用収入	千円	11, 200	11, 875	11, 400	11, 153	97. 8%	11, 500

	区分		24年	E 使		25年度		26年度
					マ 佐 田 佐		VL 695 (34 VA -+-	1.54
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	2, 300, 000	2, 266, 320	4, 000, 000	3, 999, 380	76. 5%	1, 000, 000
3	支②委託料	円	46, 000, 000	45, 842, 000	45, 602, 000	45, 602, 000	-0.5%	57, 374, 000
E	出③工事請負費	円	0	0	0	0		0
P	4 負担金補助及び交付金	円	0	0	0	0		0
4	尺 ⑤その他	円	30, 000	30, 000	30, 000	30, 000	0.0%	30, 000
=	支出合計 (A)	円	48, 330, 000	48, 138, 320	49, 632, 000	49, 631, 380	3. 1%	58, 404, 000
ス	①国庫支出金	円						3, 143, 000
	才 ②県支出金	円						
	③地方債	円						
報	り ④その他(使用料、雑入等)	円	774, 000	478, 702	467, 000	409, 819	-14.4%	428, 000
TX E	尺⑤一般財源	円	47, 556, 000	47, 659, 618	49, 165, 000	49, 221, 561	3.3%	54, 833, 000
	収入合計	円	48, 330, 000	48, 138, 320	49, 632, 000	49, 631, 380	3. 1%	58, 404, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	1	-50.0%	1
1	2年間所要時間	時間	240	240	240	400	66. 7%	240
1	** ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1, 008, 000	1, 008, 000	1, 008, 000	1, 680, 000	66. 7%	1, 008, 000
糸	費 用 (A+B)	円	49, 338, 000	49, 146, 320	50, 640, 000	51, 311, 380	4. 4%	59, 412, 000

取 〇基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実 組 施した。 内 〇高圧機器取替、屋内キュービクル改修、機械室屋外階段修繕、ピアノ修繕 ロードサイン 佐かっ 容

	評価の視点	点	H24評価	H25評価	評価項目					内	容			
	= V/ I	,1		•	自治体関与の妥当性		妥当であ		2	検討の余地		□ 3	妥当でない	
	妥 当 忖	生		С	目的の妥当性	✓ 1	妥当であ	<u> </u>	2	検討の余地	あり	3	妥当でない	
					対象の妥当性	<u> </u>	妥当であ	<u>~</u>	2	検討の余地	めり	□ 3	妥当でない	
					目標達成度	□ 1	高い	✓	2			□ 3	低い・未実施	
	有効性	生		В	類似事業の有無	<u> </u>	なし	✓	2		あり	□ 3	あり	
					上位施策への貢献度	√ 1	高い		2	普通		□ 3	低い	
6					コスト効率	□ 1	高い		2	普通		□ 3	低い	
評	効 率 1	生		В	実施主体の適正化	☑ 1	適正であ		2	改善の余地		□ 3	適正でない	
価					負担割合の適正化	<u> </u>	適正であ	る 🗵	2	改善の余地	あり	□ 3	適正でない	
	1 次評価			В	管理運営の進め方	内容に	ついて改	2次評	価	不要				
	(課長総括)				善の余地あり			2 0(1)	ІЩ	11.3				
	後急輕	既存	字の利用者に	対する利便性	の向上につとめる	まか、指	定管理者	評						
	後課価	=	よる自主事業	の充実や多様	な団体等への利用の	の働きか	けにより	価						
	方區 區	利月	用者の拡大を	図る必要があ	うる 。			結						
	針が指	とす	共施設再編方	針を踏まえて	、計画的な施設修約	繕等を実	施しなけ	稲田						
	カス か か か か の の の の の の の の の の の の の	hi:	ばならない。					果						

施設管理

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

事業概要 施設及び図書館資料以外の備品管理、学習室、研修室、視聴覚室などの貸室の管理と運営。 対 象 市民及び図書館利用者 ①学習室は個人学習の場として提供 ②録音室は、朗読ボランティア(視覚障害者用朗読録音テープ作成)に貸出 ③研修室及び視聴覚室については、行事等で使用していない場合、有料にて貸出。 段 (活動指標) 快適な施設を市民及び利用者に提供し、生涯学習の充実を図る。 (成果指標)

		指標名		24年			25年度		26年度
	1日 1示 41		単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活	① 開館日数	日	284	285	284	285	100.4%	300
3	動指標	② 学習室の席数	席	30	30	30	30	100.0%	30
指		3							
磦	成	① 学習室の利用人数	人	11, 400	12, 638	12, 700	12, 100	95. 3%	13, 400
	果指	② 研修室・視聴覚室の貸出件数 (有料)	件	33	33	30	29	96. 7%	30
	標	③ 入館者数	人	260, 000	243, 634	260, 000	227, 959	87. 7%	245, 000

	区分		24年	F.度		25年度		26年度
	区 分	単位	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	6, 764, 000	5, 863, 326	6, 497, 400	6, 049, 309	3. 2%	6, 923, 000
	支 ②委託料	円	16, 839, 000	16, 046, 840	16, 871, 000	16, 124, 640	0.5%	18, 287, 000
	出③工事請負費	円						
	内 ④負担金補助及び交付金	円	94, 000	59, 726	91, 000	63, 881	7.0%	100, 000
4	沢 ⑤ その他	円	4, 220, 000	4, 007, 656	4, 428, 600	4, 409, 530	10.0%	4, 486, 000
=	支出合計 (A)	円	27, 917, 000	25, 977, 548	27, 888, 000	26, 647, 360	2. 6%	29, 796, 000
7	①国庫支出金	円						
	才 ②県支出金	円						
棲	原 ③地方債	円						
	内 ④その他(使用料、雑入等)	円	466, 000	570, 942	465, 000	546, 183	-4.3%	607, 000
+1	沢 ⑤一般財源	円	27, 451, 000	25, 406, 606	27, 423, 000	26, 101, 177	2. 7%	29, 189, 000
	収入合計	円	27, 917, 000	25, 977, 548	27, 888, 000	26, 647, 360	2.6%	29, 796, 000
	人 ①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
7	4 ②年間所要時間	時間	3, 600	3, 600	3, 600	3, 700	2. 8%	3, 700
	費 ③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	15, 120, 000	15, 120, 000	15, 120, 000	15, 540, 000	2. 8%	15, 540, 000
ž	※ 費 用 (A+B)	円	43, 037, 000	41, 097, 548	43, 008, 000	42, 187, 360	2. 7%	45, 336, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5

組 学習室を個人学習の場として提供するとともに、研修室・視聴覚室については、行事等で使用していない場合、有料にて貸出を行っ 内 た。また、録音室は、朗読ボランティア(うぐいすの会)へ視覚障害者用朗読録音テープ作成のため貸出した。 容

				_			
	評価の	視点	H24評価	H25評価	評価項目	内 容	
	妥 当	性		Α	自治体関与の妥当性 目的の妥当性	☑ 1 妥当である □ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない □ 1 妥当である □ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない	
	Д =	圧		(対象の妥当性	☑ 1 妥当である □ 2 検討の余地あり □ 3 妥当でない	
					目標達成度	□ 1 高い □ 2 目標どおり □ 3 低い・未実施	
	有 効	性		Α	類似事業の有無	☑ 1 なし □ 2 検討の余地あり □ 3 あり	
					上位施策への貢献度	☑ 1 高い	
6					コスト効率	□ 1 高い □ 2 普通 □ 3 低い	
評	効 率	性		В	実施主体の適正化	☑ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない	
価					負担割合の適正化	☑ 1 適正である □ 2 改善の余地あり □ 3 適正でない	
	1 次評 (課長総			Α	現行どおり管理運営 当	を行うことが適 2次評価 不要	
	後課 図書の貸出冊数や入館者数の減少が続いているこから祝日開館等の要望も出てきているため、H2 館を実施し、市民の利便性の向上を図ることとし					年度から祝日開 畑	

	事務事業名	図書館資料収集保存提供事業	担	課 名	図書館
	予算事業名	資料収集保存事業	部	係 名	図書係
1基本項目	事業区分	自治事務	署	電話番号	0765-22-0462
基本	事業期間	開始年度 平成10年度 終了年度 当面継続	予	会 計	一般会計
平項	総目標名	基本目標4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
自	合 政 策 名	10 明日を担う人づくり	科	項	社会教育費
	計 施 策 名	31 生涯学習の推進	目	目	図書館費
	基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり	市	民協働の状況	協働している

市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、図書、雑誌、新聞、参考図書、視聴覚資料、郷土資料など資料を 選び、収集、保存、管理し市民や利用者に提供する。利用者が求める新刊図書を中心に市民の生涯学習や生活、レク リエーションに資する資料を収集する。市民の財産となる郷土資料を収集する。カウンター(窓口)業務や書架や各 事業概要 コーナーの管理・運営。 2 事 団体貸出。 象 市民及び図書館利用者 対 手 段 リサイクル資料の積極的な受入や相互賃借制度の活用等により、より多くの資料を提供する。 (活動指標) 义 市民の図書館の利用及び本への親しみが増加する。 (成果指標)

	指標名		24年			26年度		
	1日 1宗 - 7口	単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	活 ① 市民	人	44, 966	44, 315	44, 728	44, 036	98. 5%	44, 490
3	期 ② 図書館利用登録者数	人	21, 000	21, 651	22, 000	22, 987	104. 5%	23, 500
指	· 标 (
標	成 ① 入館者数	人	260, 000	243, 634	260, 000	227, 959	87. 7%	245, 000
	指② 貸出冊数(個人)	人	350, 000	336, 002	350, 000	321, 780	91.9%	340, 000
	標 ③ 貸出者数(個人)	人	79, 000	74, 985	79, 000	71, 539	90.6%	77, 000

	DAN	© XC 1 X (II)		,	,	,	,	/ •	,
			単位	24年	F 度		26年度		
			甲亚	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
		①需用費	円	1, 442, 000	1, 439, 120	1, 442, 000	1, 402, 885	-2. 5%	1, 483, 000
	支	0 % 10 11	巴	990, 000	870, 489	990, 000	857, 196	-1. 5%	1, 019, 000
	出	③工事請負費	巴						
	内	④負担金補助及び交付金	巴						
4	訳		巴	12, 180, 000	12, 179, 685	12, 449, 000	12, 448, 964	2. 2%	11, 941, 000
=		支出合計 (A)	巴	14, 612, 000	14, 489, 294	14, 881, 000	14, 709, 045	1. 5%	14, 443, 000
ス		①国庫支出金	巴						
ī	財	②県支出金	円						
棲	源		円						
情報	内	④その他(使用料、雑入等)	円	130, 000	116, 635	630, 000	626, 565	437. 2%	30, 000
711	訳	⑤一般財源	円	14, 482, 000	14, 372, 659	14, 251, 000	14, 082, 480	-2.0%	14, 413, 000
		収入合計	円	14, 612, 000	14, 489, 294	14, 881, 000	14, 709, 045	1. 5%	14, 443, 000
	人	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	件	②年間所要時間	時間	3, 800	3, 800	3, 800	3, 800	0. 0%	3, 800
	費	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	15, 960, 000	15, 960, 000	15, 960, 000	15, 960, 000	0. 0%	15, 960, 000
	総	費 用 (A+B)	円	30, 572, 000	30, 449, 294	30, 841, 000	30, 669, 045	0. 7%	30, 403, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

取 図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、郷土資料などの収集、保存、管理を行い、市民や利用者に提供した。また、資料の照会や本の相談 組 (レファレンス)に対応するとともに、他館との資料の相互貸借を行った。

学校、保育園等への団体貸出を行うとともに、図書館への見学にも対応した。小中学校については、学校図書館司書と連携を図り、 学校図書館の充実に努めた。

	評価の視り	点 H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当である	ნ <u></u> 2	2 検討の余地	りあり	□ 3	妥当でない
	妥 当 作	生	Α	目的の妥当性	√ 1	妥当である	5 □ 2	2 検討の余地	りあり	□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	✓ 1	妥当である	ნ <u></u>	2 検討の余地	也あり	□ 3	妥当でない
				目標達成度	1	高い	√ 2	2 目標どおり		□ 3	低い・未実施
	有 効 忖	生	Α	類似事業の有無	√ 1	なし	<u> </u>		也あり	□ 3	あり
				上位施策への貢献度	√ 1	高い				□ 3	低い
6				コスト効率	□ 1	高い	✓ 2	2 普通		□ 3	低い
評	効 率 1	生	В	実施主体の適正化	√ 1	適正である	ნ <u></u>			□ 3	適正でない
6評価				負担割合の適正化	√ 1	適正である	გ <u>ე</u> 2	2 改善の余地	りあり	□ 3	適正でない
	1 次評価	i	۸	計画どおり事業を実	実施する	ことが適	2 次評価	不要			
	(課長総括)		Α	当			乙伙計価	小女			
	後 ~ 証			_			評				
	後の方針) (課題及び今評価結果	口结七类事中应	の大中に奴は	、 回事約マレムココ	ヒッセル	1	価				
	方型 畑	J 枕さ 戯音 内谷	の元夫に劣め)、図書館でしか入り	トでさな	いような					
	針び 結	資料を揃えてい	さたい。				結				
	しぐ果						果				
	7										

事務事業名 図書館教養・普及事業	担	課名	図書館
予 算 事 業 名 教養・普及事業	当部	係 名	図書係
事 業 区 分 自治事務	署	電話番号	0765-22-0462
事業期間開始年度平成17年度終了年度当面維持本	予	会 計	一般会計
## 日 標 名 基本目標 4 人と文化を育むまち	算	款	教育費
項 総 目 標 名 基本目標4 人と文化を育むまち	科	項	社会教育費
計 施 策 名 31 生涯学習の推進	目	目	図書館費
画 基本事業名 31-1 学び続ける環境づくり	市.	民協働の状況	協働している

事業概要 図書館教室(古文書解読会・読書会など)や歴史講座・お話会・お楽しみ会・シネマ倶楽部などの開催 対象 市民及びその事業に興味を持って参加される市民以外の方 図書館映画上映事業、歴史講座、おはなし会、子ども向けお楽しみ会、おはなし玉手箱、図書館教室(古文書解読会、草かなで読む読書会、魚津読書会、時事英語を読む会、川柳教室)、おりがみ教室、図書館コンサート、魚津高校放送部発表会(ライブ・イン・ライブラリー) 意 図書館の資料や設備を利用して、多くの市民が生涯学習の意欲や楽しみを持つことができる。

	指標名		24年			26年度		
		単位	計画	実績	計画	実績	達成率	計画
	适 ① 図書館教室開講数	件	70	64	65	65	100.0%	65
3	_指 ② おはなし会開催数	件	60	60	60	60	100.0%	60
指	③ 各種集会回数	件	40	38	40	38	95.0%	40
倧	成 ① 図書館教室参加人数	人	750	1, 042	750	800	106. 7%	750
	^米 ② おはなし会参加人数	人	1, 500	1, 148	1, 500	1, 095	73.0%	1, 500
	標 ③ 各種集会参加人数	人	1, 400	1, 308	1, 400	1, 304	93. 1%	1, 400

	区分	単位	24年	F.度		26年度		
	ム カ	中亚	予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	①需用費	円	103, 000	102, 410	101, 000	100, 451	-1. 9%	205, 000
3	②委託料	巴						
占		円						
P	④負担金補助及び交付金	円	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	0.0%	1, 000
4 1	③その他	円	149, 000	116, 640	64, 000	42, 254	-63.8%	64, 000
<u> </u>	支出合計 (A)	円	253, 000	220, 050	166, 000	143, 705	-34. 7%	270, 000
ス	①国庫支出金	円						
	2県支出金	円						
	③地方債	円						
	引 ④その他(使用料、雑入等)	円	90, 000	68, 090	30, 000	72, 300	6. 2%	30, 000
記	③一般財源	円	163, 000	151, 960	136, 000	71, 405	-53.0%	240, 000
	収入合計	円	253, 000	220, 050	166, 000	143, 705	-34. 7%	270, 000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
14	0	時間	2, 500	2, 500	2, 500	2, 500	0.0%	2, 500
1	③人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	10, 500, 000	10, 500, 000	10, 500, 000	10, 500, 000	0.0%	10, 500, 000
糸	費 用 (A+B)	円	10, 753, 000	10, 720, 050	10, 666, 000	10, 643, 705	-0. 7%	10, 770, 000

平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容

5取組内容

図書館教室(古文書解読会・読書会など)や歴史講座、お話会、おりがみ教室、お楽しみ会、シネマ倶楽部などを開催した。

Ė											
	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目				内	容		
				自治体関与の妥当性	√ 1	妥当であっ	გ □	2 検討の余地	1あり	□ 3	妥当でない
	妥 当 性		Α	目的の妥当性	√ 1	妥当であん	ნ □	2 検討の余地		□ 3	妥当でない
				対象の妥当性	√ 1	妥当であり	ნ □	2 検討の余地	はあり	3	妥当でない
				目標達成度	<u> </u>	高い	~			□ 3	低い・未実施
	有 効 性		Α	類似事業の有無	√ 1	なし		2 検討の余地	はあり	3	あり
				上位施策への貢献度	√ 1	高い		2 普通		□ 3	低い
6				コスト効率	<u> </u>	高い	V	2 普通			低い
評	効 率 性		В	実施主体の適正化	√ 1	適正であん	ნ □	2 改善の余地	はあり	□ 3	適正でない
価				負担割合の適正化	√ 1	適正であん	ნ □	2 改善の余地	はあり	□ 3	適正でない
	1 次評価		Λ	計画どおり事業を実	€施する	ことが適	2 次評値	· 不要			
	(課長総括)		Α	当			乙代計制	小女			
	後○ 書亚						評				
	後課価・実施の関係を表現しています。	ない予算の中	で、ボランテ	・ィア団体と連携を耳	対ななが	ら、各種	価				
		業を行うなど	事業執行に努	マンネリー	化しない	結					
	針が照よ		見直しを検討								
	針び果より					~	果				